

やすらぎ

日本聖公会 九州教区 福岡聖パウロ教会
〒810-0045 福岡市中央区草香江 2-9-22
TEL 092-751-0097 FAX 092-751-9916
発行人 司祭 マルコ 柴本 孝夫

262号 2023.7.発行 YASURAGI

「大丈夫ですか?」「心配しています」[お祈りしています]。

牧師 司祭 マルコ 柴本 孝夫

先日福岡も豪雨に見舞われ、その被害状況がニュースで伝えられると、遠方からいくつものメールが届きました。今のところ直接被害はありませんと伝えると、よかったです。安心しました。と再度返信がありました。

何か大変なことが起こると、心配しすぐ声や言葉をかけてくださる。直接声をかけなくとも心を寄せ祈ってくださっていることが伝わってくる。つくづくありがたいと思います。他人事とは思えない、ほっとけない…。これはつながっている、共に生きている、と感じているからこそなのだと思います。そしてこのような交わりこそ、主イエス・キリストにつながる教会が二千年以上にわたり大切に続けてきたものです。

使徒言行録の第2章に初代教会の様子が記されています。

その日に三千人ほどが仲間に加わった。彼らは、使徒の教え、相互の交わり、パンを裂くこと、祈ることに熱心であった。…そして、毎日ひたすら心を一つにして神殿に参り、家ごとに集まってパンを裂き、喜びと真心をもって一緒に食事をし、神を賛美していたので、民衆全体から好意を寄せられた。

教会の急成長する姿に驚かされますが、その集まりは、教え、交わり、パンを裂くこと、祈ることに熱心であった。そして、心を一つにして生き、神を賛美していたので、民衆全体から好意を寄せられた、とあります。現代の私たちとは若干状況が違いますが、でもこれと同じく心を一つにし共に生きる者としての交わりを大切にしたいと思います。

少し前から、週報ボックスにある週報や教区報などを、できるだけ直接届ける取り組みを始めました。地味な活動ですが、情報を共有し共に生きていることを感じ合えればと願っています。

瞬間に時間が過ぎ、この「やすらぎ」編集に手間取っている間に、いろいろな出来事がありました。今さらの感が拭えないと思いますが、ご容赦いただき、各行事の様子をのぞいてください。

今回触れておりませんが、ご心配をかけている教会建築(主教座聖堂・教区センター・福岡聖パウロ教会建設)につきましては、先にお伝えしていたとおり、大幅な建設コスト増の見積もりが出たために、一時ストップし、現在調整をはかっています。遅れようとも何とか着工にこぎつけたいと思っています。

私たちの教会が置かれているこの地において、神さまの愛を体現していくことができますように、引き続きお祈りをお願いいたします。